

アスノオト信岡良亮氏と地域おこし協力隊OB・OGと作る学びの生態系。

仕事の肩書をおいて私らしくあるために《ほしい私の未来を描くbeの肩書》、私らしくいられるコミュニティづくりのために《ほしい未来を形にするセルフマネジメント》、全2回のワークショップを通じて、協力隊を終えてからより自分らしく地域で暮らす選択肢を作ります。

ほしい私の未来を描く

協力隊の可能性を上げ、退任後の自分をデザインする

1 仕事の肩書をおいて私らしくあるために《ほしい私の未来を描くbeの肩書》

Workshop

2019年10月23日(水)10時-16時

会場：五城目町地域活性化支援センター (BABAMEBASE)

対象：地域おこし協力隊員、自治体職員

前半は、地域おこし協力隊である前に、いったい自分が何者なのかに気づくため、過去の「自分らしさ」を振り返るワークを行います。

後半は、前半で気づいた自分らしさからほしい未来を描き、集まった隊員同士で互いの活動を応援し合う関係、学び合うコミュニティづくりを目指します。

2 私らしくいられるコミュニティづくりのために《ほしい未来を形にするセルフマネジメント》

Workshop

2019年11月18日(月)10時-16時

会場：秋田県自治研修所 特別教室

対象：地域おこし協力隊員、自治体職員

第1回目の研修では、ほしい未来に近づくことを応援し合うコミュニティづくりについて学びました。

前半は、前回の研修から1ヶ月の期間を経て、協力隊コミュニティにて学び合ったプロセスと個人の活動を振り返り、ほしい未来に近づけたのか仲間と確認します。

後半は、隊員同士だけでなく、行政、地域と一緒にほしい未来を描いていく根幹として、自分らしく学び続けるためのセルフマネジメントについて考えます。

自由参加

卒業後を覗いてみよう！
協力隊OB・OGツアー@五城目

2019年10月24日(木)10時-16時

会場：五城目町

対象：地域おこし協力隊員、自治体職員

卒業後も県内に暮らしている協力隊OB・OGと交流するためのツアーを企画しています。午前は協力隊OB・OGが働く現場へ、午後はOB・OG、現役隊員が一緒になって広域連携の可能性やネットワーク化につながる機会について考えます。

「他の地域の協力隊の活動を見てみたい」「市町村を超えて連携したい」という方歓迎です。参加は自由です。ぜひお越しください！

講師

信岡良亮
Nobuoka Ryosuke

株式会社アスノオト代表取締役。

1982年生まれ。関西で生まれ育ち同志社大学卒業後、東京でITベンチャー企業に就職。Webのディレクターとして働きながら大きすぎる経済の成長の先に幸せな未来があるイメージが湧かなくなり、2007年6月に退社。小さな経済でこそ持続可能な未来が見えるのではないかと、島根県隠岐諸島の中ノ島・海士町という人口2400人弱の島に移住し、2008年に株式会社 巡の環を仲間と共に起業(現在は非常勤取締役)。

6年半の島生活を経て、地域活性というワードではなく、過疎を地方側だけの問題ではなく全ての繋がり関係性を良くしていくという次のステップに進むため、2014年5月より東京に活動拠点を移し、都市と農村の新しい関係を創るために2015年、株式会社アスノオト創業。

また、多数の地域おこし協力隊が受講するオンラインプログラム“地域共創カレッジ”にも携わっている。



地域おこし協力隊定着支援事業



お問い合わせ

一般社団法人ドチャベンジャーズ

〒018-1713 秋田県南秋田郡五城目町馬場目字蓬内台 117-1

☎ 018-853-5155 ☎ 018-853-5156

✉ info@dochavengers.or.jp